

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	15H05790	研究期間	平成27年度～平成31年度
研究課題名	皮膚を場とする外的刺激に対する生体応答機構の包括的解明	研究代表者 (所属・職) (平成30年3月現在)	梶島 健治 (京都大学・大学院医学研究科・教授)

【平成30年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)		
<p>本研究は、外的侵襲に対して上皮・免疫・間質細胞の免疫応答機構とその意義を包括的に解析し、また、皮膚構成細胞・構造物、シグナル伝達などの細胞機能の可視化システムの確立を目指している。</p> <p>これまでにマウス皮膚で樹状細胞、T細胞の可視化技術を確立している。また、皮膚炎での自己抗体透過性亢進、乾癬型炎症の機序、皮疹での誘導型皮膚関連リンパ様組織の検出、かゆみ起因性サイトカイン阻害の臨床的効果を明らかにしており、着実に成果を上げている。</p>		